

科目名	卒業研究		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。先行研究の整理。研究テーマに関連する学習。研究方法・手続きについての理解。グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	栗原 直樹		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。 先行研究の整理。 研究テーマに関連する学習。 研究方法・手続きについての理解。 グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。 卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。 研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。 卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。 卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	00クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。 先行研究の整理。 研究テーマに関連する学習。 研究方法・手続きについての理解。 グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。 卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。 研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。 卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。 卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	中村 幸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。 先行研究の整理。 研究テーマに関連する学習。 研究方法・手続きについての理解。 グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。 卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。 研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。 卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。 卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。 先行研究の整理。 研究テーマに関連する学習。 研究方法・手続きについての理解。 グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。 卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。 研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。 卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。 卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。 先行研究の整理。 研究テーマに関連する学習。 研究方法・手続きについての理解。 グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。 卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。 研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。 卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。 卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	宮内 寿彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。 先行研究の整理。 研究テーマに関連する学習。 研究方法・手続きについての理解。 グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。 卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。 研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。 卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。 卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。 先行研究の整理。 研究テーマに関連する学習。 研究方法・手続きについての理解。 グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。 卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。 研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。 卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。 卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。



科目名	卒業研究		
担当教員名	新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。 先行研究の整理。 研究テーマに関連する学習。 研究方法・手続きについての理解。 グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。 卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。 研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。 卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。 卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

なお、本ゼミでは、2007年から継続的に行っている秩父市吉田太田部山間地域への訪問(2010年度からは埼玉県「ふるさと支援隊調査研究事業」に採用)を行う。過去の調査研究をもとに、各自が山間地域の社会的支援の現状を関係者へのヒアリング、計画、実施、振り返り、報告・発表に至る手法を能動的に学ぶ機会とする。（参加は自由）

中山間地域では、1960年代以降の人口減少や高齢化、過疎化による保健福祉上、防災上の危険などから、高齢者の居住自体が危ぶまれてきた。住民や自治組織を中心に、秩父市吉田総合支所、埼玉県農林振興センター、社会福祉法人秩父福祉会などとの共同による地域課題解決への実践を学ぶ。

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	太田 真智子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

卒業研究作成のための指導。 テーマの設定。 先行研究の整理。 研究テーマに関連する学習。 研究方法・手続きについての理解。 グループ及び個別指導における卒業研究指導の実施。 卒業研究結果の報告と評価 卒業研究のテーマを設定できる。 研究目的達成のための方法論を理解しその手続きを明示できる。 卒業研究を作成でき、その課題について明確に述べることができる。 卒業研究結果を報告することができる。

#### 内容

グループ形式のゼミ及び個別指導により実施する。

研究テーマの設定

研究テーマに関連する学習

先行研究の整理

研究方法・手続きの理解

研究テーマに関連する文献の収集及び調査（調査票作成、フィールドワークなど）の実施

構成の明示（あらまし、目的、方法、内容、結果及び考察、今後の課題など）

卒業研究の作成

結果の報告と評価

#### 評価

提出された卒業研究結果を対象に評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	人間福祉特論 B (展開)		
担当教員名	片居木 英人、大山 博幸、宮内 寿彦、宮城 道子 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (H) - 人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

人間福祉学科教員によるオムニバス講義、3年間の学びのまとめとなる有益な選択科目である。

前期の人間福祉特論での学びを更に発展させ、社会福祉の体系的理解のための講義を行う。社会福祉関連学会や研究の動向、トピックスについて講義する。

従来の学修を展開させ幅広く深く福祉を学ぶ事で社会人としての豊かな成長に寄与する

#### 内容

1	オリエンテーション (片居木)
2	社会福祉の歴史研究から学ぶこと (太田)
3	障がいをもつ人々からのメッセージ (太田)
4	関係を生きるふくしびと：機能的存在から実存的存在へ (大山)
5	成長するふくしびと1：福祉職の生涯学習、援助者における自己覚知に基づいた学習 (大山)
6	成長するふくしびと2：現場福祉職の自己覚知に基づいた学習の実際 (大山)
7	現代介護への視座：古代から近代史までの変遷 (宮内)
8	現代介護への視座：近代史から現代史への変遷 (宮内)
9	現代介護への視座：介護福祉士法改正～介護福祉士展開期と課題 (宮内)
10	統計データで読む社会福祉の動き (宮城)
11	ジェンダー視点から福祉を考える (宮城)
12	人間の条件～多数性と個別性～ (横山)
13	傾聴の系譜とボランティア (横山)
14	売春防止法制定55周年の今日的な問題状況 (片居木)
15	性的自己決定権の諸相 - 売買春否定の法理とは =、及びまとめ (片居木)

#### 評価

各教員の講義から関心を持ったテーマについてレポートを提出する。テーマの担当教員が採点し60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

推薦書は適宜紹介する。適宜プリントを配布する。

科目名	精神保健福祉論		
担当教員名	新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格：心理学を学ぶ上で、当事者の暮らしや支援の理解に欠かせない社会福祉の学修として位置付ける。人間が社会的な存在である以上、こどもから高齢者に至るすべてのライフステージで心身の健康が損なわれる機会がある。とりわけ精神疾患を患うことで社会的な不利がもたらされ、度重なる人生の危機にさらされやすい。社会的な制度の立ち遅れや社会的偏見の歴史から、その原因を探り、支援に係る専門職の役割を学ぶ。中でも第二次世界大戦後、歴史的に形成されてきた当事者こそが「その人」の専門家であるという視点を軸に据える。

科目の概要：精神保健福祉の意義、精神障がい者の基礎知識、精神保健福祉の歴史的社会的背景、精神保健福祉制度の概要について理解する。ついで、生活の場及びライフサイクルにおける精神保健福祉の実践的役割や多様な支援手法を学ぶ。また、当事者ゲスト講師による地域での固有の実践を共有する。

- 学修の目標： 1 精神保健福祉の意義・制度及び歴史的形成過程の理解。  
 2 精神障がい者の疾病とその回復過程の理解。  
 3 リカバリー、ストレングスアプローチ等当事者主体の支援視点や手法の形成。

#### 内容

1	映像から考える精神保健福祉の歴史（1）
2	映像から考える精神保健福祉の歴史（2）
3	精神疾患の理解（1）精神疾患の理解 診断、
4	精神疾患の理解（2）統合失調症とその診断
5	精神疾患の理解（3）統合失調症とその回復過程
6	精神疾患の理解（4）そのほかの精神疾患と回復過程
7	地域生活支援の実際（1）法律と諸制度
8	地域生活支援の実際（2）リカバリー&ストレングス回復モデル
9	地域生活支援の実際（3）ACTと当事者研究
10	地域生活支援の実際（4）権利擁護と精神保健福祉士の役割
11	地域生活支援の実際（5）他職種が連携した支援事例
12	メッセージから考える（1）当事者組織から
13	メッセージから考える（2）専門職から（地域生活支援センター等）
14	課題提出・まとめ
15	振り返り

#### 評価

授業参加態度 30%、中間評価 20% 最終回評価 50% 60%以上合格 合格点に満たない場合には再試験を行います

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】野末浩之「こころ・からだ・くらし」精神障害者の理解と地域支援 萌文社

【推薦書】大熊一夫「精神病院を捨てたイタリア、捨てない日本」岩波書店

藤本豊編「よくわかる精神保健福祉」ミネルバ書房

野中猛「精神障害リハビリテーション」中央法規

参考図書は随時授業で紹介します

科目名	死生学		
担当教員名	小田桐 正毅		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「死生学」は「福祉」と何故関連するのか。「死生学」はまた、何故「ライフやからだ」と関連するのか。本講義はこの二点に集約される諸問題を検討することから、日常生活における「生き生きとしたライフやからだ」とはどのようなものであるのかを明らかにして、「日常生活における死生学」の諸相を開示しようとすることに焦点がある。将来、保健・医療・看護・福祉・介護の領域で仕事をしたいと考えている人、さらには多様な人間関係をよく考えてみたいと思っている人の基礎的な学習になって欲しいと願っている。

内容

1	本講義の視座と目的：「死生学」の二つの態様
2	「ヒトの生」と「ヒトの死」
3	「人の生」と「人の死」：人生観・生死観・死生観・ライフチャンス
4	「生と死」に対する諸見解 (1)：生物学的見解と医学的判断
5	「生と死」に対する諸見解 (2)：法的規定と物理学的・社会学的見解
6	「生命活動」と「死生学」(1)：ライフシステムとしての地球システム
7	「生命活動」と「死生学」(2)：「生命活動」の在り様/四つの刻印
8	「生命活動」と「死生学」(3)：「生命活動」の発現モデル
9	「からだ」と「死生学」(1)：「生命活動」と「からだ」
10	「からだ」と「死生学」(2)：「生命活動」と「人間」(ジンカン・ニンゲン)
11	「からだ」と「死生学」(3)：「肉体的生命」と「身体的生命」
12	「健康・病気」と「死生学」：「健康・病気」の四つの態様
13	「ライフチャンス」と「死生学」(1)：「保健・医療・看護・福祉・介護」チャンス
14	「ライフチャンス」と「死生学」(2)：「社会的・文化的生命」とその変様
15	「日常生活における死生学」の公理的命題

評価

評価方法は、A.テーマ別の発表と、B.レポート提出とする。評価割合はAが40%、Bが60%。Aのテーマについては初回講義日に公表する。評価基準は、(1)下調べをしていて、(2)レジュメを用意してあること、また(3)自己見解を簡潔に述べることにあり、Bについては、最終講義日に提出。課題は提出日の一ヶ月前に公表する。評価基準は、(1)講義内容を踏まえること、(2)論理的な展開であること、(3)自分の考えを明記することであり、A・Bともに評価点配分は(3)が70%を占める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】プリント使用。

【推薦書】

- (1)NHKスペシャル取材班&佐々木とく子、『ひとり誰にも看取られず』(阪急コミュニケーションズ)
- (2)週刊朝日編、『ひと,死に出あう』(朝日新書642)
- (3)NHK「無縁社会プロジェクト」取材版、『無縁社会ー“無縁死”三万二千人の衝撃』,文藝春秋
- (4)笠原留似子、『おもかげ復元師』(ポプラ社)

その他,推薦書,参考図書等は,毎回の講義で適宜紹介する。

科目名	国際福祉論		
担当教員名	岡田 徹		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

社会福祉はこれまで1国家・1国民社会を前提にして生成展開されてきた。ここでは、この前提をいったん取り外し、「地球の見地に立った人間福祉」を考える。

##### 科目の概要

地球世紀（Global century）と呼ばれる21世紀を生きる私たちにとって重要なキーワードはこの科目にある「福祉」と「国際化」である。ここでは社会福祉の中で最も創発的な領域である国際福祉の理論と実践を取り上げる。ここでは先進国型の「福祉」と途上国型の「開発」を包摂する概念として「人間福祉」を提起する。人間福祉とは、＜いのちと存在＞の基底にとどく福祉のことであり、これには《美》と《魂》の力添えが要る。

##### 学習目標

- 1）毎回の出席
- 2）事前にレジュメを配布するので、予習を欠かさないこと
- 3）授業内容の把握理解と自分の意見表明

#### 内容

授業の進め方：毎回、講義レジュメを事前に配布する。映像教材を用いる。毎授業時に小レポートを課す。

#### 進行計画

1. なぜ今「国際福祉」か（意義）
2. 国際福祉とは何か（定義）
3. 国際福祉の生成展開過程（歴史）
4. 国際福祉の実践課題 1 難民問題
5. 同 上 2 HIV・エイズ問題
6. 同 上 3 在日外国人問題
7. 同 上 4 <南>の貧困問題）
8. 同 上 5 バングラデシュの村落および都市開発
9. 国際福祉の理論課題 1 国際福祉の存立根拠 脱主権国家化、グローバル・ミニマム、地球市民社会
10. 同 上 3 「福祉と国家」の再定義
12. 福祉の人間的基礎 1 《美》
13. 福祉の人間的基礎 2 《魂》
14. 授業の振り返り
15. まとめ



## 評価

ペーパーテスト（40点）、毎授業時のリアクション・レポート（30点）、平常点（30点）

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】岡田徹他編 『コミュニティ福祉学入門』 有斐閣 2005年 2600円＋税

【参考図書】仲村優一編 『国際社会福祉』第12巻 岡田徹著「国際社会福祉の歴史的動向」

科目名	家族心理学		
担当教員名	岡村 佳子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (H) - 人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

現在、日本の家族は少子化、高齢化、虐待、不登校、ホームレス、孤独死などなど多くの問題を抱えている。このような問題に対して、家族はどう立ち向かっていけばいいのだろうか。

家族は一定のルールのもとで相互作用や日常行動を行っている。家族は人間関係の家族システムであるともいえる。

一方個人が主体となる個人心理学的観点からすると、個人は家族システムのなかではどのように変容していくのであろうか、また、変容せざるをえないのだろうか。

現代家族の抱えている問題を明らかにし、次に家族システム論について考え、さらに個人心理学について説明する。最後に家族システム論と個人心理学とを融合させて新しい家族心理学を提示していくことなどを目的とする。

#### 内容

1. 家族心理学の役割
2. 家族人生周期
3. 家族システム論
4. 家族内コミュニケーション
5. 家族関係の心理査定
6. 家族心理の深層構造
7. 社会の中の家族
8. 個人の中の家族イメージ
9. 家族療法の理論
10. 家族療法の技法
11. 家族療法の技法
12. 家族療法の技法
13. 夫婦療法の理論と技法
14. 家族療法の実際
15. 家族心理学の未来

#### 評価

授業中の小レポートを30点、期末のレポートを70点。以上の合計60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

##### 教科書

亀口憲治 (20110)

改訂新版 家族心理学と特論

放送大学教育振興会

科目名	ソーシャルワーク論		
担当教員名	神山 裕美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

これまで学んだのソーシャルワーク論 ~ に基づき、実践の場面でのソーシャルワーク論の活用について事例を通して学ぶ。

#### 科目の概要

スーパービジョン、個人情報の保護、情報通信技術の活用、権利擁護活動の意味や意義、留意点を理解したうえで、具体的な事例検討を通して、これまで学んだソーシャルワーク論の活用を総合的に学修する。

#### 学修目標

- (1)スーパービジョン、個人情報の保護、通信技術の活用、権利擁護活動の意味や意義、留意点を説明することができる。
- (2)困難事例の支援過程をソーシャルワークの理論と方法の活用して考えることができる。

#### 内容

1	授業の目的と内容
2	情報共有と保護の視点
3	記録の方法と意義
4	スーパービジョンの視点と方法
5	スーパービジョンの実践現場での活用
6	情報通信技術の活用の意義と実際
7	権利擁護活動の意味、意義と実際
8	困難事例のインテークとアセスメント
9	困難事例の支援計画
10	困難事例のソーシャルワーク実践モデルとアプローチ
11	困難事例のモニタリングと評価
12	困難事例の再アセスメント再支援計画
13	困難事例の評価と不足サービスの改善開発
14	困難事例検討と評価
15	授業の振り返りと自己評価

#### 評価

レポート2回(55点)と毎回の授業コメントと授業参加(45点)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書：「ソーシャルワークの理論と方法」中央法規出版

推薦書：「対人援助・生活相談サポートブック」神山裕美・木戸宣子編著 中央法規,

「ソーシャルワーク実践のための88事例」田中英樹・中野伸彦編 中央法規(2013年4月発行予定)

科目名	ボランティア・コーディネーション		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、社会福祉展開科目として福祉に関する「ボランティア」を中心にボランティア・コーディネーションの基本をとらえる。講義は、ボランティアに関する知識と推進するための技術としてコーディネーション力を、具体的実践事例を交えながら理解することを内容とする。学修目標は、1.ボランティアについて理解する。2.ボランティアコーディネーションについて理解する。3.ボランティアコーディネーターについて理解する。

内容

1	はじめに ボランティア-自らの学びの経験をもとに-
2	豊かに生きていく上で必要なボランティア
3	ボランティアとは何か
4	ボランティアの理解1
5	ボランティア活動の実際
6	ボランティアの理解2
7	ボランティア活動の意味
8	ボランティアのとらえ方1
9	ボランティアのとらえ方2
10	ボランティア活動の課題
11	コーディネーションについて
12	ボランティアコーディネーションの理解
13	ボランティアコーディネーションとボランティアコーディネーター
14	ボランティアセンターとボランティアコーディネーター
15	まとめ

評価

学修目標に関するレポート (40%)、レポート (50%)、通常の授業態度(10%) 60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは使用せず授業時にプリント配布する。

その他必要に応じて図書等について授業時に紹介する。

科目名	市民活動論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 選択科目

市民が行う自由な社会貢献活動を促進する法律として特定非営利活動促進法が成立したのは1998年である。多様な生活問題の解決にあたって民間非営利団体(NPO・NGO)の貢献する範囲は広がっている。統計などによって見えている部分のごくわずかであるということから「氷山のようなセクターである」といわれた民間非営利領域、およびその主体である民間非営利団体について、さまざまな議論や実践とともに研究も深まりつつある。多様な非営利団体を対象に、現在の私たちの社会におけるその実態と可能性を検討する。講義だけでなく、受講生全体の参加による議論・検討を重視する。

民間非営利団体の現状をふまえて、社会における市民の役割を理解する。

#### 内容

1	生活主体と公共私領域 - NGO・NPOの誕生
2	NPOと非営利革命
3	NPOセクターの国際比較
4	ミッションとプロフィット
5	わが国のNPOを取り巻く制度と環境
6	NPOの活動事例 - 教育・文化・スポーツの分野
7	NPOの活動事例 - 医療・福祉の分野
8	NPOの活動事例 - 地域振興・環境問題の分野
9	NPOの活動事例 - 人権・平和・国際協力の分野
10	NPOの活動事例 - NPOの支援を行なうNPO
11	NPOの多様性とその課題
12	NPOにおける寄付とボランティア
13	NPOのマネジメント
14	NPOの展開と市民社会の可能性
15	レポート報告と講評

#### 評価

事例発表・討議への参加態度(3割)、期末レポート(7割)として採点し、60点以上を合格とする。再試験は行わない。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書: NPO研究フォーラム『NPOが開く新世紀』清文社 335.8/N

山内直人編『NPOデータブック』有斐閣 335.8/Y

大畑裕嗣他『社会運動の社会学』有斐閣選書

目加田説子『行動する市民が世界を変えた』毎日新聞社



科目名	福祉と倫理		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ケアリングの理論とそれに関連する思想の理解を深める。対人援助職の基本姿勢、態度の形成を目的とする意味では本授業は社会福祉基礎科目として位置づけられる、本科目は社会福祉の ケア及びケアリングの概念について理解を進め、対人援助職におけるケア及びケアリングの思想の意義を探究していくことをねらいとする。またケアリングと癒し(ヒーリング)の関連についても考察する。 ケアリング概念について説明記述でき、ケアリングそれに関連するテーマや思想的背景について独自の意見を述べるができる。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	各定義・概念の整理：ケアの語源、関連する概念
3	根源的なケア経験、ケアの動機(ロロ・メイ、鷺田を例として)
4	メイヤロフのケアリング論(概要)
5	メイヤロフのケアリング論(展開1)
6	メイヤロフのケアリング論(展開2)
7	ロジャーズのカウンセリング論との関連
8	事例から学ぶケア1：介護
9	事例から学ぶケア2：ターミナルケア(キューブラロス、ミンデル)
10	生活の中の身近なケアリング
11	ケアと死：広井のターミナルケア論から
12	ケアリングとヒーリング：映画『千と千尋の神隠し』から
13	ケアリングとヒーリング：ケイローンの神話から
14	ケアする人の成長
15	授業のまとめ

#### 評価

授業中のミニレポート30点、最終レポートもしくは試験70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】は使用しない。資料は授業中に配布

#### 【推薦書】

ロロ・メイ『愛と意志』誠信書房

メイヤロフ『ケアの本質』ゆみる出版

鷺田清一『聴くことの力』阪急コミュニケーションズ

広井良典『ケア学』医学書院



科目名	手話		
担当教員名	谷 千春		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

この科目は、主に福祉や介護の現場で働く人にとって必要な、聴覚に障害を持った人を理解したり意思の疎通を図るための知識や技術を学ぶためのものです。

#### 科目の概要

聴覚障害というものを医学的、福祉的、社会的、心理的、文化的側面から見つめ、理解を深めます。

手話を中心に筆談、読唇、補聴器、空書き、補聴器、てのひら書き、触手話、指点字などのコミュニケーション手段について学びます。

#### 学修目標

手話技術については、NPO手話技能検定協会が定める手話検定5級レベルの単語と例文を理解し、自己紹介や日常生活における簡単なやり取りができるようにします。

また、相手の聴力や、失聴年齢などに合わせたコミュニケーションを選択し、日常生活場面で使用できることを目指します。

#### 内容

1	あいさつの表現
2	家族の表現
3	時制の表現
4	指文字(ア行～サ行)
5	名前の表現
6	指文字(タ行～ハ行)
7	趣味の表現
8	指文字(マ行～ワ行)
9	中途失聴者・難聴者のコミュニケーション
10	盲ろう者のコミュニケーション
11	地名の表現
12	自己紹介
13	食べ物に関する表現
14	スポーツに関する表現
15	まとめ

#### 評価

手話による自己紹介形式の実技試験(50%)、学修目標に基づく筆記試験(40%)、通常の授業態度(10%)により評価を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参考図書 実用手話ハンドブック/谷千春監修/新星出版/378.28/J

科目名	相談援助実習指導		
担当教員名	大山 博幸、片居木 英人、栗原 直樹、太田 真智子 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

社会福祉士受験資格習得課程の科目である。社会福祉実習の事前学習及び事後学習を本科目で実施する。

相談援助実習の意義について理解する。個別指導、集団指導を通して相談援助に係る知識と技術について実際に理解し実践的な技術を体得する。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理等、総合的に対応できる能力を習得する。具体的な体験、援助活動を、専門的援助技術として理論化し体系立てていく能力を滋養する。

実習を行う実習分野についての基本的な理解をし、その概要を説明することができる。相談援助に係る知識と技術について理解し、その概要を説明することができる。実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解をし、その概要を説明することができる。実習における記録の内容、方法について理解し、適切な記録が行えるようになる。事前学習の成果として実習課題を作成することができる。事後学習の成果として実習報告書を作成ことができ、報告会で報告することができる。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	グループスーパービジョン：実習経験の振り返りを通じた事後学習 1
3	グループスーパービジョン：実習経験の振り返りを通じた事後学習 2
4	グループスーパービジョン：実習経験の振り返りを通じた事後学習 3
5	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 1
6	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 2
7	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 3
8	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 4
9	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 5
10	実習報告会の実施
11	2 回目の実習に関するオリエンテーション
12	グループスーパービジョン：実習分野の事前学習と実習課題、実習計画の作成 1
13	グループスーパービジョン：実習分野の事前学習と実習課題、実習計画の作成 2
14	グループスーパービジョン：実習分野の事前学習と実習課題、実習計画の作成 3
15	まとめ、実習に向けての確認

#### 評価

事前学習の成果である事前報告書（40%）や実習後の事後報告書の提出及び実習報告会での報告（60%）を求める。それらを総合的に評価し、60点以上を合格とする。」

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。学科作成によるマニュアルを授業中に配布する。

【推薦書】

早坂聡久・増田公香編 『相談援助実習・相談援助実習指導』 弘文堂

川廷宗之・高橋流里子・藤林慶子編著 『相談援助実習』 ミネルヴァ書房

科目名	相談援助実習指導		
担当教員名	大山 博幸、片居木 英人、栗原 直樹、佐藤 陽 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

社会福祉士受験資格習得課程の科目である。社会福祉実習の事前学習及び事後学習を本科目で実施する。

相談援助実習の意義について理解する。個別指導、集団指導を通して相談援助に係る知識と技術について実際に理解し実践的な技術を体得する。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理等、総合的に対応できる能力を習得する。具体的な体験、援助活動を、専門的援助技術として理論化し体系立てていく能力を滋養する。

実習を行う実習分野についての基本的な理解をし、その概要を説明することができる。相談援助に係る知識と技術について理解し、その概要を説明することができる。実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解をし、その概要を説明することができる。実習における記録の内容、方法について理解し、適切な記録が行えるようになる。事後学習の成果として実習報告書を作成することができ、報告会で報告することができる。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	グループスーパービジョン：実習経験の振り返りを通じた事後学習 1
3	グループスーパービジョン：実習経験の振り返りを通じた事後学習 2
4	グループスーパービジョン：実習経験の振り返りを通じた事後学習 3
5	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 1
6	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 2
7	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 3
8	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 4
9	グループスーパービジョン：事後学習と実習報告書作成指導 5
10	グループスーパービジョン：実習報告会のプレゼンテーション準備と指導 1
11	グループスーパービジョン：実習報告会のプレゼンテーション準備と指導 2
12	実習報告会の実施
13	実習全体の振り返り 1
14	実習全体の振り返り 2
15	まとめ

#### 評価

実習後の事後報告書の提出（60％）と実習報告会での報告（40％）を求める。それらを総合的に評価し60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。学科作成によるマニュアルを授業中に配布する。

【推薦書】

早坂聡久・増田公香編『相談援助実習・相談援助実習指導』弘文堂

川廷宗之・高橋流里子・藤林慶子編著『相談援助実習』ミネルヴァ書房

科目名	<b>社会福祉実習</b>		
担当教員名	大山 博幸、片居木 英人、栗原 直樹、佐藤 陽 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

社会福祉士受験資格取得のための指定科目である。指定された実習施設で各自180時間以上の実習を実施する。相談援助実習指導の科目と関連して学習していく。

相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得する。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

実習先での利用者や職員との円滑な人間関係を形成できる。実習中対象となった利用者への支援計画を作成することができる。実習先でのチームアプローチの実際についてとらえその概要を説明することができる。社会福祉士として要請される職業倫理について具体的な事例を参照して説明することができる。当該実習先の経営管理の実際状況について理解し、具体的な事例を参照して説明することができる。当該実習先とその地域の諸社会資源との関連について理解し、説明することができる。

#### 内容

- 1利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成
- 2利用者理解とその需要の把握及び支援計画の作成
- 3利用者やその関係者（家族・親族・友人等）との援助関係の形成
- 4利用者やその関係者（家族・親族・友人等）への権利擁護および支援（エンパワメントを含む）とその評価
- 5多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際
- 6社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解
- 7施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際
- 8当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解。

#### 評価

実習指導者による実習評価や巡回時の学生の様子、実習指導者からのコメントを元に総合的に評価する。60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。学科作成によるマニュアルを授業中に配布する。

#### 【推薦書】

早坂聡久・増田公香編『相談援助実習・相談援助実習指導』弘文堂  
川廷宗之・高橋流里子・藤林慶子編著『相談援助実習』ミネルヴァ書房

科目名	<b>社会福祉実習</b>		
担当教員名	大山 博幸、片居木 英人、栗原 直樹、佐藤 陽 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修* , 選択 , 選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

社会福祉士受験資格取得のための指定科目である。指定された実習施設で各自180時間以上の実習を実施する。相談援助実習指導の科目と関連して学習していく。

相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得する。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

実習先での利用者や職員との円滑な人間関係を形成できる。実習中対象となった利用者への支援計画を作成することができる。実習先でのチームアプローチの実際についてとらえその概要を説明することができる。社会福祉士として要請される職業倫理について具体的な事例を参照して説明することができる。当該実習先の経営管理の実際状況について理解し、具体的な事例を参照して説明することができる。当該実習先とその地域の諸社会資源との関連について理解し、説明することができる。

#### 内容

- 1利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成
- 2利用者理解とその需要の把握及び支援計画の作成
- 3利用者やその関係者（家族・親族・友人等）との援助関係の形成
- 4利用者やその関係者（家族・親族・友人等）への権利擁護および支援（エンパワメントを含む）とその評価
- 5多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際
- 6社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解
- 7施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際
- 8当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解。

#### 評価

実習指導者による実習評価や巡回時の学生の様子、実習指導者からのコメントを元に総合的に評価する。60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。学科作成によるマニュアルを授業中に配布する。

#### 【推薦書】

早坂聡久・増田公香編『相談援助実習・相談援助実習指導』弘文堂  
川廷宗之・高橋流里子・藤林慶子編著『相談援助実習』ミネルヴァ書房



科目名	人間福祉特論A（基礎）		
担当教員名	佐藤 陽、野島 靖子、中村 幸子、新井 幸恵 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

人間福祉学科教員によるオムニバス講義、社会福祉を学んできた学生にとってまとめとなる有益な選択科目である。

3年次までの学びに基づき、社会福祉の体系的理解のための講義を行う。社会福祉関連学会や研究の動向、トピックスについて講義する。

福祉専門職に求められる資質を理解し、今後の成長の糧とする。

#### 内容

1	地域福祉の視座 - 自らの実践検証による考察から普遍化への試み(佐藤)
2	地域福祉実践の醍醐味 - 計画づくりを具体的実践に繋ぐ(佐藤)
3	日本の過疎地域から学んだこと(新井)
4	非侵襲的認知症ケアとしての回想法を考える(新井)
5	精神障がい者のリハビリとストレングスモデルの考え方(新井)
6	生を考えよう～出生児診断について～(中村)
7	人生を豊かに、幸福に(中村)
8	人生最期の選択について(中村)
9	認知症対応型グループホームから始まった小規模ケアの在り方(野島)
10	認知症高齢者ケアと質の確保について(野島)
11	生活保護施設の現状と実態(野島)
12	少子高齢社会のとらえ方(栗原)
13	子どもの権利を考える【子どもの最善の利益について】(栗原)
14	子どもの権利を考える【子どもの最善の利益について】(栗原)
15	地域福祉を支える福祉教育 - 地域福祉教育推進プラットフォームの構築(佐藤)

#### 評価

講義の中から関心をもったテーマについてレポートを提出する。テーマの担当教員が採点し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書は適宜紹介する。適宜プリントを配布する。